

1. 科目名 (単位数)	生活科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3393 SJMP3293 EDEL3318
2. 授業担当教員	坂本 史生		
4. 授業形態	プレゼンテーション、ディスカッション、グループ学習、ロールプレイ、模擬授業 (実習) 講義	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	生活科の特質は、直接体験を重視した学習活動を展開し、意欲的に学習や生活ができるようにすることにある。本科目では、生活科の趣旨や目標・内容を理解した上で、2年間にわたる指導計画や学習指導案の作成を行ったり、模擬授業を行ったりするなどの具体的な実践を伴いながら生活科の指導方法について学習する。その中で、子どもが知的好奇心・探求心をもって主体的に学ぶ学習が成立するための方策について具体的に追求する。		
8. 学習目標	1. 生活科の目標、内容、全体構造及び指導上の留意点について理解する。 2. 生活科の特質、子どもの実態を視野に入れた学習指導案及び教材を作成できるようになる。 3. 模擬授業の実施を通して、授業の批判的検討及び授業改善ができるようになる。 4. 適切な学習評価について理解し、実践できるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	○ 学習指導案の作成と模擬授業の準備 ○ 模擬授業の批判的検討 ○ レポート課題 1000 字程度		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 小学校学習指導要領解説 生活編 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 【参考書】 小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 生活科の目標や内容、特徴を踏まえて指導計画をつくらることができる。 2. 指導計画をもとに適切な授業を行うことができる。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への積極性 (発言・模擬授業の実施等) 総合点の 20 % 2 日常の学習状況 (出席・提出物) 総合点の 30 % 3 課題レポート (中間・期末) 総合点の 50 %		
12. 受講生へのメッセージ	教師が子どもの体験の世界や身の回りの環境に目を向けるとともに、子どもに負けない知的好奇心・探求心を持って教材開発をすることが大切です。受講に際しては、自発的・能動的に活動することを望んでいます。		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	「授業の概要と目標の理解」 ・ 本授業の目標と内容について理解し、学びの見通しを持つ。 「現代の子どもと子どもを取り巻く環境についての考察と理解」 ・ 子どもの実態に目を向け、授業設計に活かせるようにする。	事前学習	・ 本授業において自身が学びたいことや身につけたいことなど、自身の目標を立ててくる。
		事後学習	・ 自身の目標の修正を行うとともに、実際の子どもの観察を行い、子ども理解を深める。
第 2 回	「学習指導要領の内容と生活科学習の特徴の理解」 ・ 生活科の目標・内容・特質・意義・役割等について、学習指導要領を基に理解する。	事前学習	・ 学習指導要領の生活科に関わる箇所を読み、自分なりに生活科について特徴をおさえる。
		事後学習	・ 生活科の特徴について、事前学習で自分なりにおさえた特徴に追記、修正を行う。
第 3 回	「生活科の内容構成と二カ年の指導計画の構想」 ・ 生活科の教科書を基に、単元構成の在り方を学び、二カ年を見通した指導計画を考える。	事前学習	・ 学習指導要領解説生活編の「内容」に関わる箇所を読み、学習指導要領上で示されている「内容」を理解しておく。
		事後学習	・ 作成した二カ年計画の修正、加筆を行う。
第 4 回	「生活科の実践事例 (学校と生活) 」 ・ 第 1 学年の単元構成と実際の学習活動をみて授業評価を行い、生活科の授業の特質について理解を深める。	事前学習	・ 内容「学校と生活」について、学習指導要領解説の記述を読み、理解しておく。
		事後学習	・ 学習指導要領解説内の内容「学校と生活」と実践事例を見比べ、具体を伴って内容を理解できるようにする。
第 5 回	「生活科の実践事例 (季節の変化と生活) 」 ・ 第 2 学年の単元構成と実際の学習活動をみて授業評価を行い、生活科の授業の特質について理解を深める。	事前学習	・ 内容「季節の変化と生活」について、学習指導要領解説の記述を読み、理解しておく。
		事後学習	・ 学習指導要領解説内の内容「季節の変化と生活」と実践事例を見比べ、具体を伴って内容を理解できるようにする。
第 6 回	「単元計画の作成」 ・ 二カ年全体を見通した上で単元計画を作成し、生活科の単元構成や特質への理解を深める。	事前学習	・ 生活科の二カ年計画を見直すとともに、学習指導要領解説の「単元計画の作成」について記述を読み、自分なりに理解をする。
		事後学習	・ 授業内で作成した単元計画を修正加筆し、完

			成させる。
第7回	「単元計画の共有と見直し」 ・ 単元計画を共有し、検討する活動を通して自身の単元計画の改善を図る。	事前学習	・ 作成した単元計画を見直し、ポイントをおさえて周囲に共有できるようにしておく。
		事後学習	・ 他の単元計画や検討を基に、自身の単元計画を改善する。
第8回	「学習指導案の作成」 ・ 学習指導案の書き方と授業設計について理解し、学習指導案を作成する。	事前学習	・ 学習指導要領解説の学習指導に関わる箇所及び生活科の学習指導案を読み、学習指導案の書き方を自分なりにおさえてくる。
		事後学習	・ 学習指導案の見直し、修正、加筆を行い、学習指導案を完成させる。
第9回	「効果的な教材の作成と活用」 ・ 生活科の特質に合わせて、授業設計に効果的に活用できる教材（情報機器の効果的な活用を含む）を作成する。	事前学習	・ 生活科の効果的な教材について実践事例を調べてくる。
		事後学習	・ 作成した教材の見直し、修正、改善を行い、教材を完成させる。
第10回	「模擬授業の実施と批判的検討（内容：地域と生活）及び学習指導案の改善」 ・ 内容「地域と生活」について模擬授業を実施し、授業設計や教材等についての振り返りを行う。合わせて学習指導案の見直しも行う。	事前学習	・ 学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・ 模擬授業や振り返りを受けて、特に授業設計に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第11回	「模擬授業の実施と批判的検討（内容：自然や物を使った遊び）及び学習指導案の改善」 ・ 内容「自然や物を使った遊び」について模擬授業を実施し、指導方法や教材等についての振り返りを行う。合わせて学習指導案の見直しも行う。	事前学習	・ 学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・ 模擬授業や振り返りを受けて、特に指導方法に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第12回	「模擬授業の実施と批判的検討（内容：動植物の飼育、栽培）及び評価の理解」 ・ 内容「動植物の飼育、栽培」について模擬授業を実施し、振り返りを行うとともに、評価の視点について理解する。	事前学習	・ 学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・ 模擬授業や振り返りを受けて、特に評価活動に焦点を当てて学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第13回	「模擬授業の実施と批判的検討（内容：自分の成長）」 ・ 内容「自分の成長」について模擬授業を実施し、授業設計・指導方法・評価の改善について考える。	事前学習	・ 学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・ 模擬授業や振り返りを受けて、学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第14回	「生活科の授業の実践（指導の留意点と評価）」 ・ 映像や画像、学習カードなどの記録をもとに、実際の授業の様子を観察し、生活科の授業のあり方について理解を深める。	事前学習	・ 自身の模擬授業、学習指導案及び教材を見直し、良かった点、改善点をまとめておく。
		事後学習	・ 実際の授業実践と自身の模擬授業、学習指導案及び教材を比較し、修正改善を行う。
第15回	「生活科授業のあり方、授業のまとめ」 ・ 生活科という教科の特徴について振り返るとともに、その特質を活かした授業を設計する際のポイント、留意点について確認を行う。	事前学習	・ 今までの学習を振り返り、生活科の特徴やポイントについて発表ができるようにしておく。
		事後学習	・ 生活科の特徴やポイントについて、理解しやすいように簡潔にまとめる。